

科学技術政策研究所講演会・セミナー等の開催

(平成13年1月以降)

1. 2001. 1.22 安西 祐一郎：慶應義塾大学理工学部長、理工学研究科委員長
「情報通信技術の将来～人間系を中心とするソフトウェア技術と情報環境の実現にむけて」
2. 2001. 2. 2 山田 肇（科学技術動向研究センター客員研究官）
「第3世代移動通信の標準化と将来性」
3. 2001. 2. 2 河野 隆二：横浜国立大学工学部電子情報工学科教授
「第4世代移動通信に向けた胎動-ソフトウェア無線技術の展望-」
4. 2001. 2. 5 山口 治（情報分析課係長）
「外国技術導入の動向分析（平成10年度）」
花井 光浩（情報分析課特別研究員）
「日本の技術輸出の実態（平成10年度）」
5. 2001. 2.23 末松 安晴：高知工科大学学長
「半導体レーザーの技術革新について」
6. 2001. 3.12 坂村 健：東京大学大学院情報学環 教授
「インフラストラクチャとしてのコンピュータと TRON プロジェクト」
7. 2001. 3.15 Prof.Vicki Sara：豪研究会議 ARC(Australian Research Council)
「豪州の研究におけるイノベーション」
8. 2001. 3.19 原 正彦：理化学研究所 フロンティア研究システム 局所時空間機能研究チーム チームリーダー
「ナノテクノロジーと時空間機能材料」
9. 2001. 3.22 Dr. Hariolf Grupp：独 フラウンホーファー協会システム・技術革新研究所(ISI)
「独国における重点課題設定及び評価：分散型『知』の役割」
10. 2001. 3.23 Prof. Luke Georghiou：マンチェスター大学工学・科学・技術政策研究所(PREST)
「英国の研究・イノベーション政策の重点課題設定及び定量的評価」
11. 2001. 3.26 前田 昇：高知工科大学大学院工学研究科起業家コース教授
「ドイツにおけるハイテクベンチャー育成政策 - 大学、研究所からの起業、特にアン・インスティテュートを中心として - 」
12. 2001. 3.27 Dr.Bark Pyengmu：韓国科学技術評価院(KISTEP) 部長
「韓国の国家研究開発プログラムの計画と評価：システム、手続き、メカニズム」
13. 2001. 3.28 鎌田 博：筑波大学 遺伝子実験センター長
「遺伝子組換え植物・食品の研究現状と安全性確保」

14. 2001. 4.25 藤野 政彦：武田薬品工業（株）会長
「技術移転における産学官協力のあり方」
15. 2001. 4.27 和田 恭雄：（株）日立製作所基礎研究所主任研究員
「シリコンデバイスの技術動向と限界 - 集積回路技術の限界と分子エレクトロニクスへの期待 - 」
16. 2001. 5. 7 吉川 邦夫：東京工業大学大学院総合理工学研究科教授
「廃棄物の有効利用と資源化」
17. 2001. 5. 9 Dr. Bob Smailes：エディンバラ大学エディンバラ研究・イノベーション有限責任会社研究サービス部長
「大学の研究基盤の活用と考えられる経済的インパクト」
18. 2001. 5.23 柿崎 文彦：（第3 調査研究グループ 主任研究官）
「地域における科学技術振興に関する調査研究（第5 回調査）
～都道府県及び政令指定都市における科学技術政策の現状～」
19. 2001. 5.30 嶋田 隆一：東京工業大学 原子炉工学研究所 教授
「21 世紀の電力エネルギー供給システム
～期待される技術～（電力の輸送と貯蔵の新技术）」
20. 2001. 6.14 横尾 淑子：（科学技術動向研究センター 研究官）他
「第7 回技術予測調査」
21. 2001. 6.18 伊地知 寛博：（第1 研究グループ 主任研究官）
1. LCD（液晶ディスプレイ）に関する研究開発組織過程
～特許に基づく国際比較分析
2. 産学間のインタラクションに係る利益相反(conflict of interest)のマネジメント ～特許データによる実態分析および制度・運用に関する主要国の現状
22. 2001. 6.27 永井 克孝：三菱化学 生命科学研究所所長
「第三の生命鎖糖鎖とポストゲノム解析」
23. 2001. 7. 6 飯塚 尚和：宮城県産業技術総合センター所長
「地方公設試におけるマネジメントシステムの構築」
24. 2001. 7.19 大村 直也：（財）電力中央研究所 我孫子研究所 主任研究員
「バイオセンサーによる環境中の微量化学物質の計測」
25. 2001. 8. 1 小山 康文：岩手大学地域共同研究センター助教授
「地域の科学技術振興と産学連携について」
26. 2001. 9.12 西川 伸一：京都大学医学部教授
「再生医学の最近の動向」
27. 2001.10.12 岡本 信司：（第2 調査研究グループ 上席研究官）
「科学技術に関する意識調査（第一報）」
28. 2001.11. 1 畑村 洋太郎：工学院大学国際基礎工学科教授
「失敗学の構築」

29. 2001.11. 7 小田切 宏之:(第1研究グループ 総括主任研究官)
「技術ストックの経済効果をいかに測定するか」
30. 2001.11.20 Dr. Gerald Hane: 前米国科学技術政策局 (OSTP) 国際部長代理
(GLOBALVATION 代表)
「クリントン政権下での科学技術政策およびブッシュ政権下での変化の見通し (Science and Technology from Clinton to Bush -- S&T Policies under the Clinton Administration and Changes expected under the Bush Administration)」
31. 2001.11.2 高木 利久: 東京大学医科学研究所教授
「バイオインフォマティクスの最近の動向とこれからの課題」
32. 2001.12.10 Dr. Tim E. Ray: Director, Open University, U.K.
「集団的暗黙知, 技術イノベーション, および絶えざる創造の静穏: 日本からの教訓; Collective tacit knowledge, technological innovation and the calm of constant creation: lessons from Japan」
33. 2001.12.11 岩坪 威: 東京大学大学院薬学系研究科
「痴呆研究の動向: アルツハイマー病の病体解明と治療への展望を中心に」
34. 2001.12.19 柳田 敏雄: 大阪大学大学院医学系研究科情報生理学教室教授
「ナノバイオロジーの動向と今後の課題」
35. 2002. 1.22 Dr. Peter Cook: 豪州技術科学・工学アカデミー国際協力委員長
「産学官連携の強化: 海外の経験及び日本との関連」(Strengthening industry-government-university linkages; Overseas experience and possible relevance to Japan)
36. 2002. 2. 6 Dr. Laudeline Auriol: Administrator in the Economic Analysis and Statistics Division, OECD Directorate for Science, Technology and Industry
「熟練科学技術人材の測定・国際流動」
37. 2002. 2. 7 Dr. Mitch Halpern: Principal Consultant, SRI Consulting Business Intelligence
「米国の半導体産業の動向と将来展望」
38. 2002. 2.15 斎藤 衛郎:(独)国立健康・栄養研究所 食品機能研究部長
「機能性食品の研究開発の動向と特定保健用食品」
39. 2002. 2.26 Prof. Arie Rip (Twente University, the Netherlands), Dr. Jean-Marie Cadiou (Director General, Institute for Prospective Technological Studies): 「欧州の科学技術政策動向～欧州研究圏構想と研究開発評価を中心に～ (Currents of the Science, Technology and Innovation Policies in Europe)」

40. 2002. 3. 4 Dr.Jean-Claude Gavrel (Director, Networks of Centres of Excellence,CANADA) : カナダのイノベーション戦略とCOEネットワークの継続的役割
41. 2002. 3. 5 王元 (中国・科学技術促進発展研究中心) : 中国の科学技術政策動向
42. 2002. 3.18 Dr. Christine Peterson (Director, Science & Technology Policy Program,SRI International) :「米国NNI (National Nanotechnology Initiative) の形成プロセスと最新動向」
43. 2002. 3.22 鶴尾 隆 (東京大学分子細胞生物学研究所長) :「大学等におけるがん研究の最近の動向」
44. 2002. 4.11 柴崎 正勝 (東京大学大学院薬学系研究科教授) :「地球環境と有機合成」
45. 2002. 4.15 Prof. David King(英国政府首席科学顧問兼科学技術庁(OST)長官)
<文科省と共催> : 「一般国民の科学技術理解増進 (人材育成の観点からの科学技術教育の役割等)」
46. 2002. 4.19 阿部 忠彦 (富士通総研 主席研究員) :「エレクトロニクス産業の競争力強化に向けて 情報サービス産業における競争力強化に向けて」
47. 2002. 4.23 岡田 清孝 (京都大学大学院理学研究科教授) :「分子植物科学の現状と将来」
48. 2002. 5.10 遠藤 誉 (筑波大学 留学生センター 教授) : 中国科学技術政策の最近の動向-科学技術政策と人材資源国家戦略および大学改革・産学連携の現状-」
49. 2002. 5.31 三村 信男 (茨城大学 広域水圏環境科学教育センター 教授) :「温暖化の影響・リスクに関する研究の現状と温暖化研究の将来」
50. 2002. 6. 5 高濱 洋介(徳島大学ゲノム機能研究センター 教授) : 免疫学の最近の動向」
- < 予定 >
51. 2002. 6.27 松本 紘 (京都大学 宙空電波科学研究センター) :「宇宙立国の要となるべき宇宙太陽発電所」
52. 2002. 7. 5 鳥井 弘之 (東京工業大学教授 日本経済新聞社論説委員) :「革新的原子力技術とその開発体制」
53. 2002. 7.18 柳田 充弘(京都大学大学院生命科学研究科長 教授) : 我が国大学における生命科学の研究と教育推進の危機的状況」

(参考)

- ・ 講演会・セミナーご案内先 計 154 名
 うち 文部科学省 :75 名、内閣府 10 名、関係機関 10 名、顧問・機関評価委員 20 名、
 その他 当所関係者 (客員、OB 等) 39 名
- ・ 講演出席者実績 (4 年 4 月 15 日、Prof. David King 英国政府首席科学顧問) :60名
 うち 文部科学省 25 名、内閣府 1 名、当研究所スタッフ 18 名、その他 16 名